

脳卒中で本人に入院された方へ

現在、香川大学医学部附属病院 脳神経外科・救命救急センターでは全国の病院に脳卒中で入院された方の診療情報を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題で利用する診療情報等の利用については、研究対象者の方の同意が得られていませんが、香川大学医学部倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、医学部長より実施についての承認が得られています。この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データからあなたの情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【研究課題名】

脳卒中レジストリを用いた我が国の脳卒中診療実態の把握

【研究機関の長】

香川大学医学部長

【研究責任者名・所属】

三宅 啓介 香川大学医学部脳神経外科 教授

この研究は、国立循環器病センターを主幹機関とする多施設共同研究として行います。

【研究対象者】

脳卒中で2002年1月から現在までの間に本院当院または脳卒中データバンク参加施設に入院された方

【利用している診療情報の項目】

性別、生年月、既往歴、喫煙歴、飲酒歴、家族歴、介護保険情報、来院方法、入院前内服薬、発症状況、発症から来院までの時間、発症時症状、入院日、診断名、診察所見、画像所見、血液検査所見、治療内容（手術、投薬、リハビリ）、退院日、生存状況（退院時、90日後、1年後）、脳卒中後遺症度（modified Rankin Scale: 退院時、90日後、1年後）

【利用の目的】 脳卒中の診療実態を把握し医療の質の向上に役立てることを目的としています。

【外部機関との研究データの授受】

上記の診療情報を研究事務局（国立循環器病研究センター 豊田一則）へ提供し、また本研究に参加している約120施設等に対し脳卒中診療の医療の質向上に資する研究のため利用申請に応じて提供することがあります。

【主な提供方法】 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他

【利用期間】

倫理委員会承認後より 2026年3月31日までの間（予定）

【この研究での診療情報の取扱い】

香川大学医学部倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報には匿名化処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

【研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者】

研究責任者：国立循環器病研究センター病院 副院長 豊田 一則

研究内容の問い合わせ担当者：香川大学医学部附属病院 脳神経外科 助教 岡内正信

電話：087-898-5111（代表）（内線 2833）（応対可能時間：平日 9時～17時）